

# 加太地区散策案内アプリ

## 【大和街道】

大和街道は関宿・西の追分で東海道から分岐し、加太峠を越えて奈良へ続く街道です。

都が奈良にあった飛鳥・奈良・平安初期時代は、伊賀を通り加太峠越えが東海道でした。

そして、壬申の乱(672年)では大海人皇子が通り、1184年に源義経が木曾義仲追討のため加太越えし、1582年徳川家康が本能寺の変により堺から伊賀越え・加太峠越えして三河へ引き返しました。

徳川家康が通った鍛冶ヶ坂峠は、当時の名残りが見られます。

なお、関氏の一族である加太氏が南北時代に鹿伏兔城を築城しました。(三重の山城 50)

また、江戸時代は東海道の脇街道として加太宿があり、本陣は加太板屋に、高札場・問屋場は加太市場にありました。

## 【加太鉄道遺産群】

JR 四日市～草津間は明治23年に開業しました。

JR 加太駅～加太隧道の標高差 110mを克服するため、隧道、橋梁、架道橋、築堤、信号所などが築かれ、10ヶ所が鉄道遺産として現存しています。

案内アプリは、下記の QR コードをダウンロードしてください。

